



ノンフレーム工法、治山事業100周年記念 治山功績者表彰で「農林水産大臣賞」を受賞！

「ノンフレーム工法」の開発と10年以上にわたる普及活動の功績が認められ、「治山事業100周年記念治山功績者表彰」において最高賞の農林水産大臣賞を日鐵住金建材(株)が受賞いたしました。

「治山事業100周年記念治山功績者表彰」は、日本における治山事業が明治44年(1911年)に第一期森林治山事業として開始されて以来、平成23年に100周年を迎えたことを記念して、一般社団法人日本治山治水協会が、明治以来の日本の治山事業推進において顕著な功労のあった者や治山事業の中から、特に有益な発明改良など技術の開発向上に功績のあった個人及び団体を表彰するものです。

4月9日(水)に記念式典が執り行われ、日鐵住金建材(株)の代表取締役社長 増田規一郎が参列し江藤農林水産省副大臣より表彰を受けました。

ノンフレーム工法は今回「農林水産大臣賞」を受賞したことにより、大臣賞を3度受賞するという栄誉にあずかりました！

<「ノンフレーム工法」の主な受賞歴>

- 2011年度 グッドデザイン賞グッドデザイン・サステナブルデザイン賞 【経済産業大臣賞】
- 2011年 第8回エコプロダクツ大賞エコサービス部門 【国土交通大臣賞】
- 2013年 林野庁「後世に伝えるべき治山～よみがえる緑～」60選
- 2014年 「治山事業100周年記念治山功績者表彰」【農林水産大臣賞】

今後も、ノンフレーム工法は、樹木を切らない、景観・環境保全を可能とする工法の特徴を活かしつつ、持続的な社会の実現に貢献すべく、工法のさらなる普及と改善に取り組んでいきます！





ノンフレームタイムズ

発行：2012年1月25日

大臣賞連続受賞の快挙！

ノンフレーム工法が何と、

●経済産業大臣賞 (2011年度グッドデザイン賞 サステナブルデザイン賞)

●国土交通大臣賞 (第8回エコプロダクツ大賞 エコサービス部門)

の大臣賞連続受賞という快挙を達成しました！

ちなみにこれまでに、グッドデザイン賞特別賞とエコプロダクツ大賞の両方を受賞した製品は、**トヨタ・プリウス** (ハイブリッド車) や**日産リーフ** (電気自動車) など、革新的技術で卓越した環境性能を実現したもののばかり。ノンフレーム工法もこれらに並ぶ画期的な斜面防災技術として、高い評価を頂きました。



サステナブルデザイン賞の表彰状と副賞のトロフィー

【経済産業大臣賞】

グッドデザイン・サステナブルデザイン賞

右の赤いマークをご覧になったことはありませんか？ これは通称“Gマーク”と呼ばれ、グッドデザイン賞という賞を受賞した製品だけがつけられるマークなのです。

このマークは、デザインに優れる製品についていると思われがちですが、実はその評価基準は見た目のデザインだけではありません。その製品が「暮らしを、社会を、豊かにしうるのか」を重視しているのです。実際、昨年度は今や国民的アイドルとなったAKB48も受賞しています。

そのグッドデザイン賞を今年、ノンフレーム工法が受賞しました！ しかもただのグッドデザイン賞ではありません。何と、候補作品 3,162 件中、選ばれたのは**たった5作品**という極めて貴重な賞、**経済産業大臣賞【サステナブルデザイン賞】**を受賞したのです！

サステナブルデザイン賞とは、「地球環境問題を踏まえ、持続可能な社会の実現をめざしている」と認められた作品だけに贈られる特別賞。審査員からは、「人間と自然の共生、森林保全と斜面防災の両立ができる方法である」と、高い評価を頂きました。



サステナブルデザイン賞だけの特別ロゴマーク
今年の選出はわずか5作品という、貴重な賞です



経済産業大臣政務官／北神圭朗様より表彰頂く、
ノンフレーム工法研究会／岩佐技術委員長

【国土交通大臣賞】エコプロダクツ大賞

グッドデザイン・サステナブルデザイン賞受賞の興奮冷めやらぬ中、再び大きなニュースが舞い込んできました。今度はエコプロダクツ大賞において、国土交通大臣賞を受賞したのです！

エコプロダクツ大賞とは、**環境負荷の低減に配慮した、優れた製品・サービス (=エコプロダクツ) を表彰する制度**。表彰式は、国内最大級の環境展示会として知られる「エコプロダクツ 2011」の中で行われました。

その甲斐あってか、エコプロダクツ 2011 に出展したノンフレーム工法展示ブースは、常に来場者でごった返すほどの大盛況ぶり。鳩山元首相を始め各界の著名人もお越しになりました。

中でも本工法の環境性能に皆さん関心を持たれ、**環境に優しい防災工法に対する、一般市民の高い潜在ニーズ**を感じました。



国土交通省官房審議官／大藤朗様より表彰頂く、ノンフレーム工法研究会／浅田会長



エコプロダクツ大賞の表彰状と副賞の楯

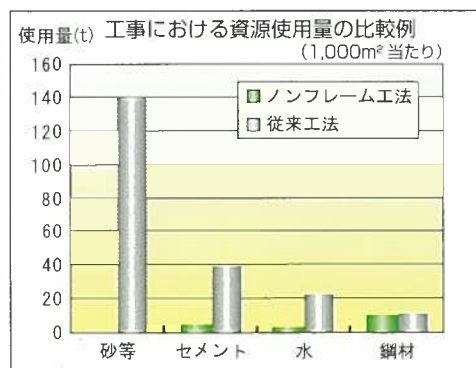


ノンフレーム工法展示ブースは、テレビ取材を受けるほどの盛況ぶりでした

「持続可能な社会」づくりに貢献する、ノンフレーム工法

地球温暖化や環境問題を抱える現代、持続可能な社会の実現に対する関心が急速に高まっています。「**持続可能な社会**」とは、省資源化や廃棄物削減に取り組み、永続できる社会のこと。皆さんが普段行っているゴミの分別・リサイクルなども、持続可能な社会に向けた行動です。

この観点で斜面防災を見ると、下グラフのように、コンクリート主体の従来工法に対してノンフレーム工法は**大幅な省資源化**が図れることが分かります。



ノンフレーム工法によって大幅な省資源化が図れます

また、「捨てればゴミ、活かせば資源」という言葉もある通り、これまで伐採し、廃棄物となっていた樹木も、これを活かせるノンフレーム工法ならば、**森林資源が保全でき、地球温暖化防止、廃棄物削減が図れます**。

今回の大臣賞連続受賞や展示ブースでの反響も、環境を破壊しがちとされている公共事業の中で、持続可能な社会づくりに貢献する本工法への、高い期待の表れだと感じています。



樹木を活かせるノンフレーム工法は、社会のニーズに応える工法として、高く期待されています